

CASBEE-建築(新築)2016年版
天神ブリッククロス■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階							
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質									3.7
Q1 室内環境						0.40		-	3.6
1 音環境					3.7	0.15	-	-	3.7
1.1 室内騒音レベル		室内騒音レベルはNC値=40		4.0	0.40	3.0	-		
1.2 遮音				3.4	0.40	-	-		
1	開口部遮音性能	Dr値を約47に設定している		3.0	0.60	3.0	-		
2	界壁遮音性能			4.0	0.40	3.0	-		
3	界床遮音性能(軽量衝撃源)			3.0	-	3.0	-		
4	界床遮音性能(重量衝撃源)			3.0	-	3.0	-		
1.3 吸音		吸音材を床・天井の二面に使用している		4.0	0.20	3.0	-		
2 温熱環境					3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-		
1	室温			3.0	0.38	3.0	-		
2	外皮性能			3.0	0.25	3.0	-		
3	ゾーン別制御性			3.0	0.37	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	-		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	-		
3 光・視環境					4.2	0.25	-	-	4.2
3.1 昼光利用				4.1	0.33	-	-		
1	昼光率	昼光率を約3.8に設定している		5.0	0.57	3.0	-		
2	方位別開口			-	-	-	-		
3	昼光利用設備			3.0	0.43	3.0	-		
3.2 グレア対策				4.0	0.29	-	-		
1	昼光制御	柱型が外部に出ているため、庇などの代わりになる		4.0	1.00	3.0	-		
3.3 照度		事務所専有部は、全般照明方式で、照度が700lx以上の設定		4.0	0.14	3.0	-		
3.4 照明制御		明るさセンサーによる自動照明制御ができる。		5.0	0.24	3.0	-		
4 空気質環境					3.7	0.25	-	-	3.7
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-		
1	化学汚染物質	F☆☆☆☆の採用70%以上		4.0	1.00	4.0	-		
4.2 換気				3.6	0.30	-	-		
1	換気量	1人あたり30m3/hの換気量を確保		3.0	0.34	4.0	-		
2	自然換気性能			3.0	0.32	3.0	-		
3	取り入れ外気への配慮	給排気位置は異なる面からとしている		5.0	0.34	4.0	-		
4.3 運用管理				3.0	0.20	-	-		
1	CO ₂ の監視			3.0	0.50	-	-		
2	喫煙の制御			3.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.5
1 機能性					3.5	0.40	-	-	3.5
1.1 機能性・使いやすさ				3.3	0.40	-	-		
1	広さ・収納性	一人当たりの執務スペースが9㎡以上		4.0	0.32	3.0	-		
2	高度情報通信設備対応			3.0	0.32	3.0	-		
3	バリアフリー計画			3.0	0.36	-	-		
1.2 心理性・快適性				3.3	0.30	-	-		
1	広さ感・景観	天井高さ2700mm以上確保		4.0	0.34	3.0	-		
2	リフレッシュスペース			2.0	0.32	-	-		
3	内装計画	建物コンセプトを反映する取り組み		4.0	0.34	-	-		
1.3 維持管理				4.0	0.30	-	-		
1	維持管理に配慮した設計	仕上げ材・バリアフリーなどに配慮している		4.0	0.50	-	-		
2	維持管理用機能の確保	十分な清掃員控室・管理倉庫を設置している		4.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性					3.6	0.30	-	-	3.6
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.8	0.50	-	-		
1	耐震性(建物のこわれにくさ)	レベル2地震動に1.25倍割増しを考慮している。		4.0	0.80	-	-		
2	免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.3	0.30	-	-		
1	躯体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-		
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.20	-	-		
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10	-	-		
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	外気取り入れダクトについて、取り入れから機器までガルバリウム		4.0	0.10	-	-		
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	塩ビライニング鋼管やステンレス鋼管を採用		4.0	0.20	-	-		
6	主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				3.6	0.20	-	-		
1	空調・換気設備			3.0	0.20	-	-		
2	給排水・衛生設備	節水型器具の採用他		5.0	0.20	-	-		
3	電気設備	異なる変電所からの引込みをしている(本線)		4.0	0.20	-	-		
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-		
5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性				3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり				4.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3900mm以上確保している	5.0	0.60	3.0	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	-	-	
3.2 荷重のゆとり			事務所の床用積載荷重は5000レベル5以上を満足している	4.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性				3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	4.2
1 生物環境の保全と創出			生物環境の保全と創出の試みを計画している	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮			建物の配置・形態等について周辺のまちなみに調和させている。	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			外装材、舗装材に周辺の街並みらしさを表現する計画	3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			敷地内の歩行者空間の暑熱環境を緩和している	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	3.5
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI _m が0.90未満	4.2	0.20	-	-	4.2
2 自然エネルギー利用			自然換気装置を設けている	3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化			[BEI][BEI _m] = 0.69	4.1	0.50	-	-	4.1
4 効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			BEMSを採用	3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング	3.0		0.50	-	-		
4.2	運用管理体制	3.0		0.50	-	-		
集合住宅の評価				-	-	-	-	
4.1	モニタリング	3.0		-	-	-		
4.2	運用管理体制	3.0		-	-	-		
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.5
1 水資源保護				4.0	0.20	-	-	4.0
1.1 節水			節水型器具の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				4.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無	雨水の外構散水利用	4.0	0.70	-	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無	再生水を原水とする雑用水利用	4.0	0.30	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.3	0.60	-	-	3.3
2.1 材料使用量の削減			-	3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み				下地のある部分は、分別が容易な工法を採用している	5.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.8	0.20	-	-	3.8
3.1 有害物質を含まない材料の使用			有害物質を含まない材料を積極的に採用している	5.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.3	0.70	-	-	
1	消火剤	ガス消火材は、窒素	4.0	0.33	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	-	
3	冷媒		3.0	0.33	-	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮			LCCO ₂ の排出を抑えている	4.0	0.33	-	-	4.0
2 地域環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			駐車場・駐輪場ともに附置義務台数を満たしている ごみの多種分別回収が可能なストックスペースを確保している	3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.2	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33	-	
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	0.33	-	-	
2	振動			3.0	0.33	-	-	
3	悪臭			3.0	0.33	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	